離乳中期(生後7~8か月ごろ)1日2回食

舌と上あごでつぶすことを覚える時期です。穀類の**主食**+たんぱく質源の**主菜**+野菜類の**副菜**を組み合わせ、いろいろな味や舌ざわりを楽しめるよう食品の種類を増やしていきましょう。

√□ 野菜をやわらかく仕上げるコツ

大きめに切って茹でるなど加熱してからきざむ。

●うどんのやわらか煮

材料

うどん(乾麺)	15g
しらす干し小さ	じ1
大根、キャベツなど…15~	20g
だし汁	
しょうゆ	少々
水溶き片栗粉	適宜



作り方

- ① うどんは細かく折る。
- ② 沸騰した湯にうどんを加え、表示時間の 2~3倍長く茹で、水で洗って塩気をと る。食べづらい場合はつぶす、または包 丁で2~3mmにきざむ。しらす干しは湯 通ししてきざむ。野菜はやわらかく茹で てきざむ。
- ③ 鍋に②とだし汁を入れて煮る。
- ④ 風味付け程度にしょうゆを加える。 水溶き片栗粉でとろみをつけてもよい。

●にんじんの和風シチュー

材料 作りやすい分量

にんじん、玉ねぎなど…… 50g ツナ(水煮)………… 1/2缶 小麦粉 ………… 小さじ1 牛乳またはミルク …… 大さじ3 みそ ………… 少々 野菜スープ ……… 大さじ4



作り方

- ① 野菜はやわらかく茹でてきざむ。
- ② 鍋に汁を切ったツナと①、野菜スープを 入れて煮る。
- ③ ボウルに小麦粉とみそを入れ、牛乳で少しずつのばし、だまがないように混ぜる。
- ④ ②に③を加えて混ぜ、とろみをつける。

●魚のホワイトソースあえ

材料

魚 (刺身用)1切れ
ほうれん草(葉先)、
キャベツなど10g
★ホワイトソース 大さじ1



作り方

- ① 野菜はやわらかく茹でてきざむ。
- ② 耐熱容器に魚と水少々を加え、ふんわりとラップをかけ、電子レンジで約1分加熱する。
- ③ 魚はほぐし、きざんだ野菜とホワイトソースであえ、再度電子レンジで加熱する。

★電子レンジで作るホワイトソース

材料 作りやすい分量

バター 10	g
小麦粉 大さじ	1
牛乳またはミルク 1/2カップ	Í

(作り方)

- ① 耐熱容器にバターを入れ、電子レンジで 10 秒加熱して溶かす。
- ② 小麦粉を加えて混ぜ、さらに牛乳を加えて混ぜる。
- ③ ふんわりとラップをかけ、電子レンジで 40 秒~1 分程度加熱し、よくかき混ぜる。
- ④ 再度ラップをかけ、1分くらい加熱し、 かき混ぜる。
- ※牛乳やミルクは吹きこぼれやすいので注意する。

●かぼちゃのヨーグルトあえ

材料

かぼちゃ 15 g プレーンヨーグルト 大さじ1/2



作り方

- ①かぼちゃはやわらかく茹で、皮を取る。
- ② つぶしてヨーグルトであえる。

※レシピ中の「ミルク」とは、育児用ミルクのことです。

●トマトと卵のスープ

材料 作りやすい分量

トマト 小1個
玉ねぎ 1/4個
卵黄1個
だし汁 1・1/2カップ
しょうゆ少々
水溶き片栗粉 少々



作り方

- ① 玉ねぎはみじん切りにし、電子レンジで 約1分加熱する。
- ② トマトは種を取り除いて、ざく切りにする。
- ③ 鍋にだし汁と①を入れ、やわらかく煮る。
- ④ トマトを加えてさらに煮、トマトの皮が 浮いてきたら取りのぞく。
- ⑤ 風味付け程度にしょうゆを加え、水溶き 片栗粉でとろみをつける。
- ⑥ 割りほぐした卵黄を流し入れ、火が通るまで加熱する。

●魚のポテトマッシュ

材料 作りやすい分量

魚 (刺身用) 2切れ
じゃがいも 1/2個
バター 少々



作り方

- ① じゃがいもは水から茹で、やわらかく なったら、魚を加えて一緒に火を通す。
- ② 茹で汁を少し残して捨て、つぶしながら バターを加え混ぜる。

└ 鶏ささみやむね肉を食べやすくするコツ

茹でてほぐした鶏肉は、おかゆやマッシュポテト、ホワイトソースなどに混ぜると、パサつきにくい。

●ささみのくず煮

材料

鶏ささみ(筋なし)	15g
水	適量
しょうゆ	少々
水溶き片栗粉	少々



作り方

- ① 鍋にささみとかぶるくらいの水を入れて 火にかけ、茹でる。茹で汁は捨てずに別 の器にとっておく。
- ② ささみを細かくほぐして鍋に入れ、茹で汁を適量加えて加熱する。風味付け程度にしょうゆを加え、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ※ささみは鶏むね肉でもよい。
- ※茹でてきざんだ野菜を加えてもよい。

●納豆と野菜のうま煮

材料

なす、大根、にんじんなど
······20∼30 g
ひきわり納豆 小さじ1
だし汁または水 適量
しょうゆ 少々



作り方

- ① 野菜はやわらかく茹でてきざむ。
- ② 鍋に①とだし汁を入れて煮る。
- ③ 粗みじんに切った納豆を加えてさらに 煮て、風味付け程度にしょうゆを加える。

ベビーフードについて

離乳食を進めていく中で、外出時や忙しい時、保護者の体調不良時などにベビーフードを利用するのも一つの方法です。ベビーフードの食材の大きさ、固さ、とろみ、味付けなどは離乳食を手づくりする際の参考にもなります。

≪選び方・注意点≫

- ◆お子さんの状況に合わせて、食材の固さや形状の近いものを選び、食べる様子を見て適切かを確認する。
- ◆初めての食品が複数入っていないか、食品表示や注意事項などを確認し、家庭で試す。
- ◆1食をベビーフードだけで揃える場合は、料理や原材料が偏らないように組み合わせを工夫する。
- ◆瓶詰やレトルト製品は、開封後すぐに食べる。食べ残しは与えない。
- ◆不足しやすい鉄分などの栄養補給として上手に活用する。

また、災害時に備え、ベビーフードや育児用ミルク、液体ミルク等を準備しておくことは大切です。味や使用方法を知っておくためにも日ごろの食事において、料理の1品として、または食材のひとつとして利用するのもよいでしょう。